



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 エスペック株式会社
コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大島 敬二

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 06-6358-4741

平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,136	13.7	1,133	35.4	1,274	33.7	802	35.9
27年3月期第2四半期	14,196	1.1	837	23.1	953	17.5	590	17.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 813百万円 (60.6%) 27年3月期第2四半期 506百万円 (△56.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	34.70	—
27年3月期第2四半期	25.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	45,913	35,424	77.2	1,530.76
27年3月期	46,792	35,451	75.1	1,521.96

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 35,424百万円 27年3月期 35,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	19.00	26.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	19.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	4.0	2,800	5.9	3,000	△1.5	2,100	△0.9	90.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	23,781,394 株	27年3月期	23,781,394 株
28年3月期2Q	639,531 株	27年3月期	680,455 株
28年3月期2Q	23,122,902 株	27年3月期2Q	23,259,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、米国の堅調な景気拡大や円安・原油安を背景とした企業の収益改善などにより回復基調が継続いたしました。一方で、中国経済の減速や世界同時株安など世界経済への影響が懸念される状況となりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続するとともに、エレクトロニクス関連メーカーでも投資意欲の改善が見られました。

こうした中、当社は、重点市場と位置付けている中国・東南アジアにおいて営業活動を強化するとともに、エコカーを中心とするエネルギーデバイス市場や医薬品などのライフ市場の開拓を進めてまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は19.2%増加し20,764百万円、売上高は13.7%増加し16,136百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は35.4%増加し1,133百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は35.9%増加し802百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (27年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	17,418	20,764	19.2
売上高	14,196	16,136	13.7
営業利益	837	1,133	35.4
経常利益	953	1,274	33.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	590	802	35.9

セグメント別の業績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
装 置 事 業	17,156	12,909	887
サ ー ビ ス 事 業	2,944	2,615	215
そ の 他 事 業	808	733	32
連 結 消 去	△145	△122	△2
計	20,764	16,136	1,133

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品が好調に推移するとともに、恒温恒湿室ビルドインチャンバーやカスタム製品も自動車市場を中心に好調に推移いたしました。海外市場では、米国・中国・東南アジアを中心に輸出が堅調に推移し、米国・中国子会社が好調に推移いたしました。こうした結果、環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、車載用二次電池の充放電評価装置やパワー半導体の評価装置の受注獲得に注力し、受注高は前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。売上高は、受注案件の多くを下期に売上計上する予定であるため、減少いたしました。

半導体関連装置につきましては、スマートフォン関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高は前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。売上高は前年同四半期連結累計期間比で減少いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は22.5%増加し17,156百万円となり、売上高は15.6%増加し12,909百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加にともない前年同四半期連結累計期間比で27.1%増加し887百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (27年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	14,004	17,156	22.5
売上高	11,166	12,909	15.6
営業利益	698	887	27.1

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

受託試験・レンタルにつきましては、自動車市場において主力のテストコンサルティングが堅調に推移し、受注高・売上高ともに好調だった前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は2.9%増加し2,944百万円、売上高は0.8%増加し2,615百万円となりました。営業利益につきましては、販管費の減少などにより、前年同四半期連結累計期間比で15.5%増加の215百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (27年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	2,860	2,944	2.9
売上高	2,594	2,615	0.8
営業利益	186	215	15.5

<その他事業>

その他事業につきましては、子会社であるエスベックミック株式会社の森づくりや植物工場事業が堅調に推移し、前年同四半期連結累計期間比で受注高は19.3%増加し808百万円となり、売上高は32.6%増加し733百万円となりました。営業利益につきましては、前年同四半期連結累計期間比で改善し、32百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (27年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	678	808	19.3
売上高	553	733	32.6
営業利益又は営業損失(△)	△47	32	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は45,913百万円で、前連結会計年度末と比べ878百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2,334百万円、仕掛品等のたな卸資産の増加1,387百万円などによるものであります。また、負債は10,488百万円で前連結会計年度末と比べ851百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少105百万円、未払法人税等の減少302百万円、その他流動負債の減少297百万円などによるものであります。純資産は35,424百万円で前連結会計年度末と比べ27百万円の減少となり、その主な要因は資本剰余金の減少258百万円、利益剰余金の増加490百万円、非支配株主持分の減少293百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、平成27年5月13日に発表した予想数値から修正しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成27年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績の影響を与える要因は、これらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)および事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が258百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,270	10,081
受取手形及び売掛金	13,744	11,409
有価証券	4,901	3,901
商品及び製品	562	843
仕掛品	1,110	2,177
原材料及び貯蔵品	1,544	1,584
その他	1,914	2,039
貸倒引当金	△11	△14
流動資産合計	33,036	32,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,298	3,431
土地	4,464	4,467
その他(純額)	1,881	2,080
有形固定資産合計	9,644	9,978
無形固定資産	364	373
投資その他の資産	3,746	3,537
固定資産合計	13,755	13,889
資産合計	46,792	45,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,301	5,195
未払法人税等	742	439
賞与引当金	377	368
役員賞与引当金	6	—
製品保証引当金	255	250
その他	2,653	2,355
流動負債合計	9,336	8,609
固定負債		
長期借入金	196	140
退職給付に係る負債	45	52
役員退職慰労引当金	12	12
資産除去債務	52	52
その他	1,696	1,621
固定負債合計	2,003	1,879
負債合計	11,340	10,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	6,914
利益剰余金	20,554	21,044
自己株式	△550	△501
株主資本合計	34,072	34,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,199	1,033
土地再評価差額金	△686	△686
為替換算調整勘定	578	729
退職給付に係る調整累計額	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	1,085	1,071
非支配株主持分	293	—
純資産合計	35,451	35,424
負債純資産合計	46,792	45,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,196	16,136
売上原価	8,981	10,392
売上総利益	5,215	5,743
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,239	1,331
賞与引当金繰入額	106	111
製品保証引当金繰入額	79	100
貸倒引当金繰入額	—	6
その他	2,951	3,059
販売費及び一般管理費合計	4,377	4,609
営業利益	837	1,133
営業外収益		
受取利息	20	15
受取配当金	34	95
為替差益	35	—
その他	33	47
営業外収益合計	122	158
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	8
支払手数料	4	5
その他	1	2
営業外費用合計	7	17
経常利益	953	1,274
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	954	1,274
法人税、住民税及び事業税	350	453
四半期純利益	604	821
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	590	802

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	604	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199	△166
為替換算調整勘定	△307	157
退職給付に係る調整額	10	0
その他の包括利益合計	△97	△8
四半期包括利益	506	813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508	787
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,158	2,485	552	14,196	—	14,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	108	0	118	△118	—
計	11,166	2,594	553	14,314	△118	14,196
セグメント利益又は セグメント損失(△)	698	186	△47	837	0	837

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	12,908	2,495	732	16,136	—	16,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	120	0	122	△122	—
計	12,909	2,615	733	16,258	△122	16,136
セグメント利益	887	215	32	1,136	△2	1,133

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。